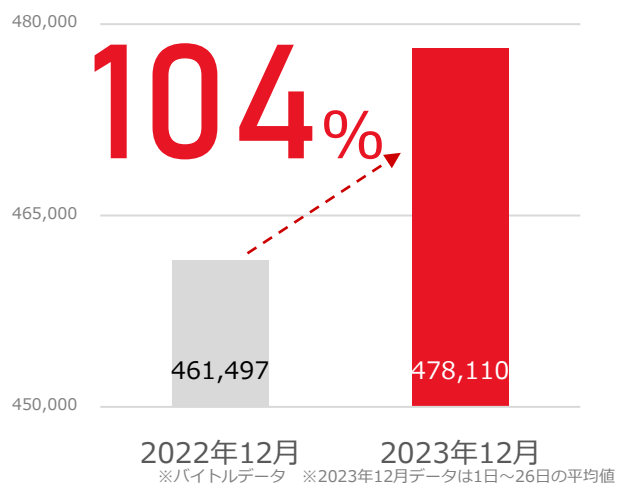


昨年同月との比較で見る

市況環境の変化

昨年同月と比較し、ライバルが増え人材獲得が難しい状況が続いており、給与の見直しなどを行う企業も増えています。

掲載件数の変化

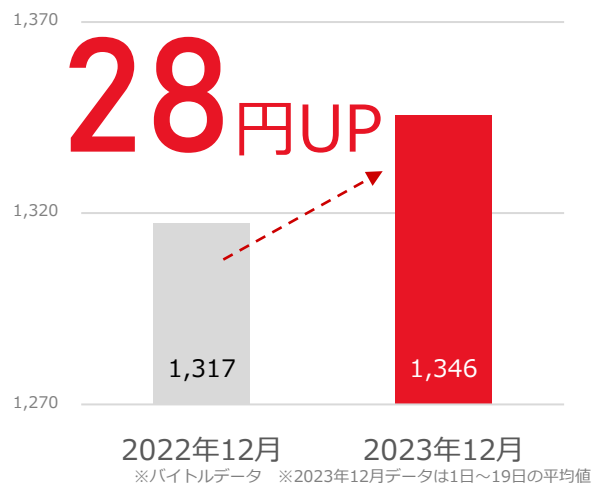


Topics

多くの職種で案件が増加しており、軽作業・物流は昨年同月比約113%、サービス系は約132%など、伸長しています。ライバルとの差別化がより重要となってきます。



賃金の変化

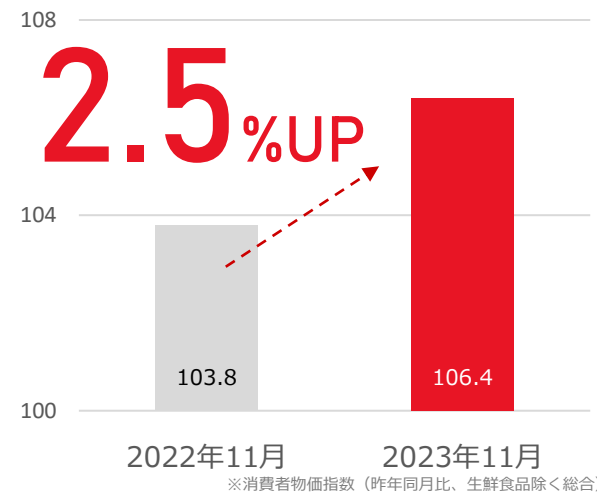


Topics

採用難易度の上昇や最低賃金の改定により、賃金の見直しを行う企業も多く、昨年同月比でフード・飲食は33円、軽作業・物流は36円平均時給が上昇しています。



物価の変化



Topics

物価の高騰を示す指数が上がり続けています。消費者の生活費が増加することで、家計への負担が重くなり、給与を重視される傾向が強まる可能性も。

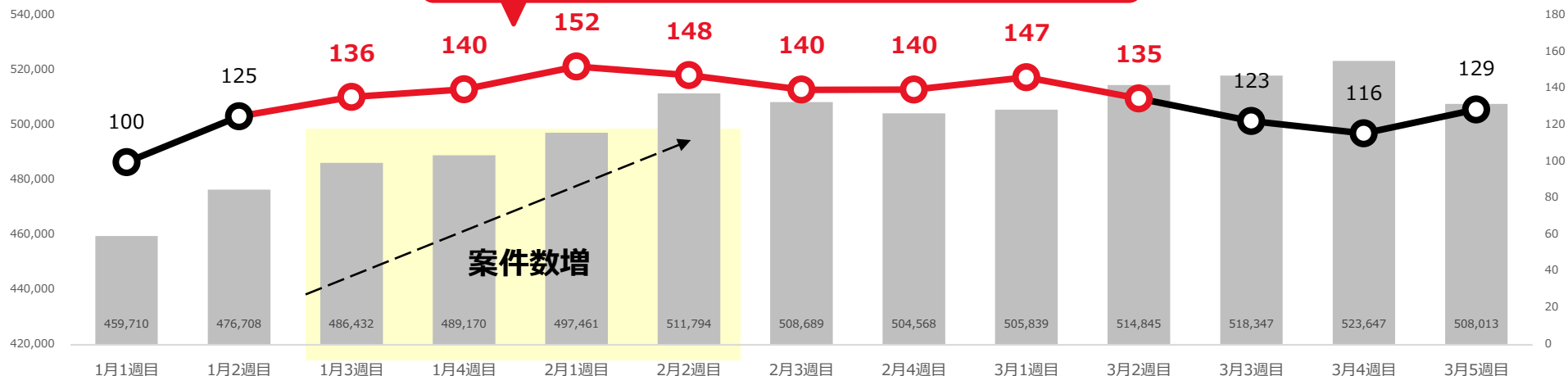


昨年同時期から見る

春採用に向けた採用活動の動き予測

春に向けて案件数は増加傾向のため、ライバルの少ない早めの動き出しがおすすめです。

▼バイトル 2023年案件数・応募倍率指数推移



**案件数が増加し
ライバルが増えていきます**

春に向けて、求職者のお仕事探しも活発化していきますが、案件数も増加傾向にあります。複数名の採用を目指す場合は、1回で採用しきれない可能性も加味した、早めの動き出しが重要です。



**退職が多いタイミング
育成期間を見越した早めの計画を**

学生は卒業、主婦（夫）さんはパートナーの転勤や環境の変化などで、新生活の影響で退職が増える時期。戦力低下とならないように、育成期間に余裕をもった採用計画が大切です。



**人気ブランドや大企業など
手ごわいライバルの登場**

春採用は卒業や退職も多く、様々な企業が採用に動き出します。中でもブランド力が高い、採用条件が良いなど、手ごわいライバルも増える傾向にあるため、早めの計画立て・動き出しが重要です。

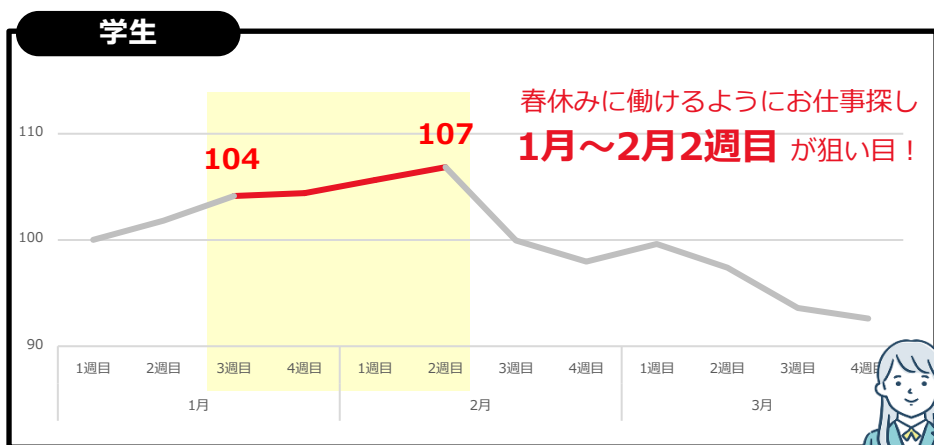


昨年同時期のバイトル応募効果から見る求人動向

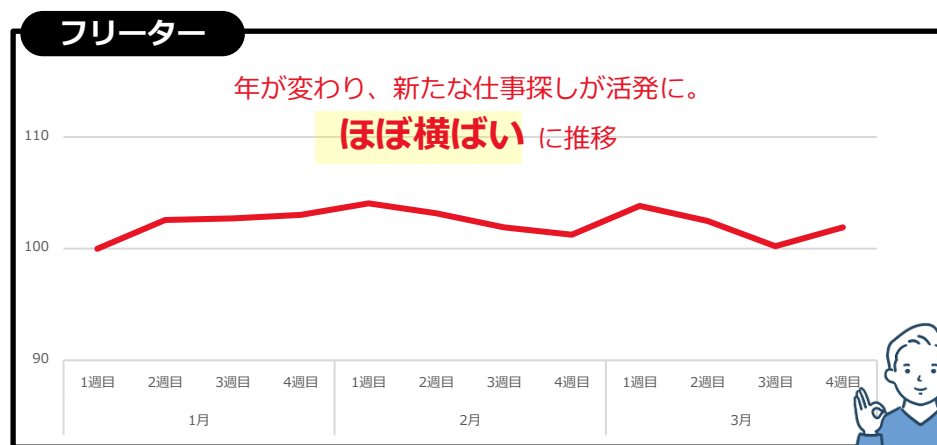
属性別の求人動向

昨年の応募効果の動きをもとに、

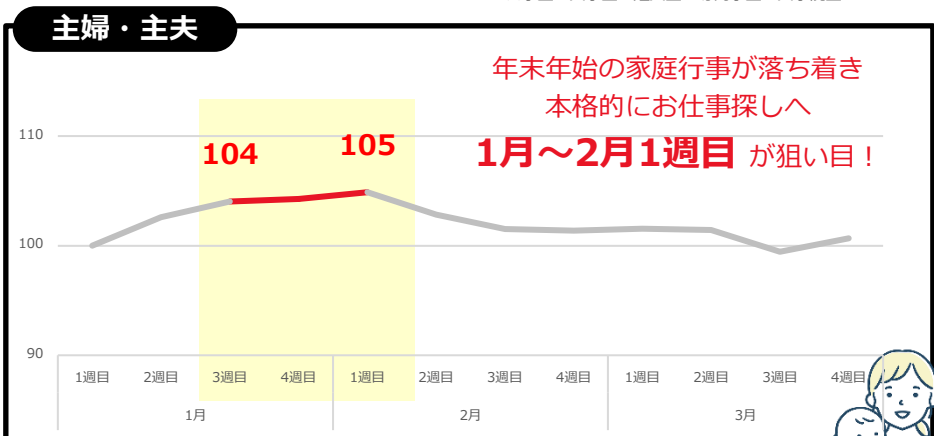
ターゲットとする属性ごとに掲載時期や打ち出しなどの採用計画を立てていきましょう。



※学生＝大学生・短大生・専門学生・大学院生

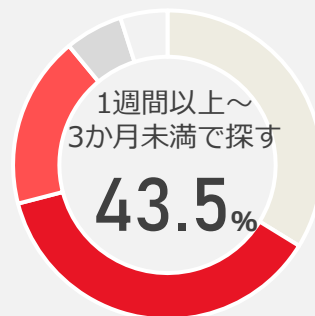


※フリーター＝アルバイト・無職



※主婦・主夫＝主婦・主夫、パート

TOPICS



- 1週間未満
- 1週間以上～1か月未満
- 1か月以上～3か月未満
- 3か月以上～6か月未満
- 6か月以上

1週間以上～1か月未満で探す人が約30%。

1か月以上～3か月未満で探す人が約15%います。

検討期間も考慮した採用計画を立てましょう。

※ディップ調べ (n=669)

※応募倍率指数：応募÷案件で算出した、1案件あたり応募で、2023年1月1週目を100とした時の指数で表示

※「dip」「バイトル」はディップ株式会社の登録商標です

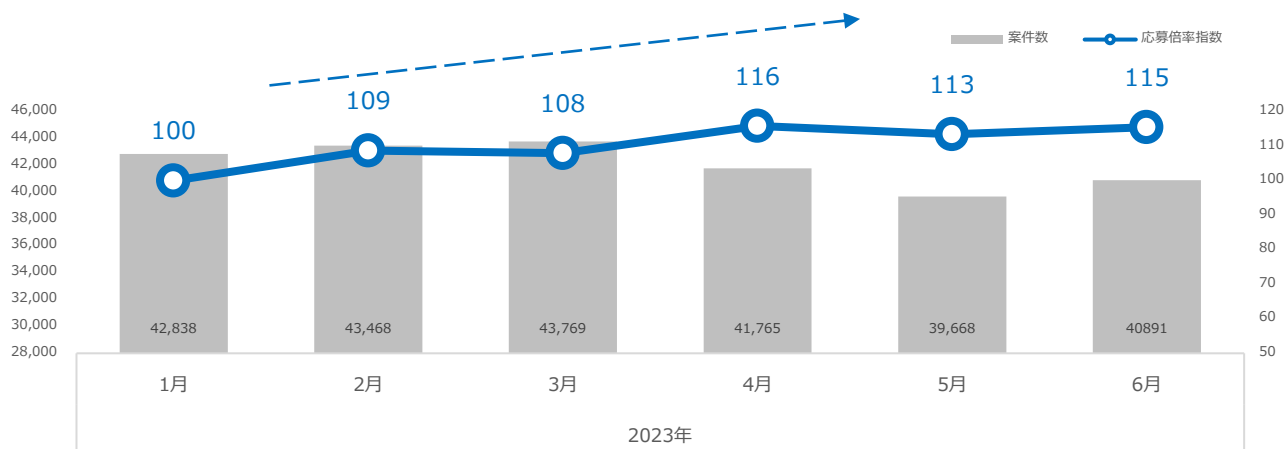
社員採用は早めの動き出しが重要

応募前に検討する期間が発生するため、応募効果の高い時期よりも早い段階から、検討してもらえるような土台づくりが重要です。早めの動き出しを行いましょう。

求職者動向

▼バイトルNEXT 2023年案件数・応募倍率指数推移

春に向けて、応募効果が高まっていきます



1月の求職者動向

☑ ボーナス退職層

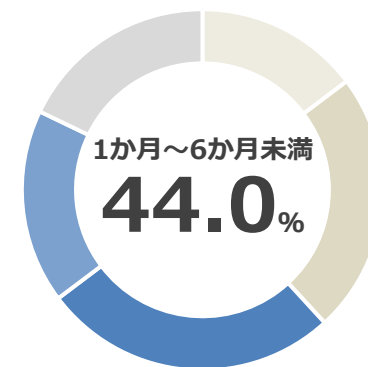
冬のボーナスでの退職層が動き出し。今すぐ働きたい人には、応募～採用までのスケジュール等を提示することもポイントです。

☑ 春の転職層

春の転職シーズンに向けて、企業の求人募集も、求職者の仕事探しも活発化してきます。他社に採用が決まる前に、早めの囲い込みが重要です。

転職活動期間

Q.今就業している職場の仕事探しの検討期間はどれくらいでしたか。



- 1週間未満
- 1週間以上～1か月未満
- 1か月以上～3か月未満
- 3か月以上～6か月未満
- 6か月以上

転職者の約4割が離職する**1か月～6か月前**から仕事探しを行っています。転職を決めるまで検討期間があるため、早めのアプローチが重要です。

